

第4学年 音楽科学習指導案

令和3年11月 8日(月) 5・6校時

活動場所 音楽室

指導者 志津 貴子

1 題材名 音階をもとにして音楽をつくろう

2 題材の目標

- (1) 旋律のつなげ方や音階の響きの特徴などと曲想との関わりについて気付き、思いや意図にあった表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、まとまりのある音楽をつくる技能を身に付ける。
- (2) 旋律や音階などを聴き取り、それらの働きが生み出す良さや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、旋律の音の動きや反復を生かしてどのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて、思いや意図をもつ。
- (3) 旋律のつなげ方、組み合わせの良さや面白さに興味をもち、友達と協働して旋律をつくる活動を楽しみながら、日本の旋律に親しむ。

3 本時の学習

(1) 目標

レミソラシ高いレの音階(律音階)を使って、旋律や組み合わせ方、つなげ方を工夫し、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもってつくる。

(2) プログラミングを取り入れる効果

Scratch(スクラッチ)を使って、作品の配置を考え、繰り返すことでまとまりが生まれる良さや違うパターンを試して変化の面白さを味わうこと、修正を加えてより良い音楽をつくることをもとに、音の高さや長さの組み合わせ(旋律)などの工夫を、友達と試行錯誤しながら互いの学びを深め合い、楽しみながらより主体的・協働的に音楽をつくる活動に取り組むことができる。

(3) 展開

| 学習活動 | 指導上の留意点(◇評価) |
|---|---|
| 1 本時のめあてをつかむ。 | |
| 組み合わせ方やつなぎ方を工夫して、まとまりのある音楽をつくろう | |
| 2 各グループがつくった旋律を聴き、まとまりのある音楽をつくる際の工夫について考える。 ・良かった点から、さらなる工夫の観点を確認する。(曲の山、終わりの音、反復) | ・前時の学習を想起しながら聴くように助言する。 ・改善前と改善後のモデルを提示して比較させ、改善する観点を考えさせる。 |
| 3 グループでScratchを使って、思いや意図を明確にしながら、まとまりのある音楽をつくる。 ・新たな観点を取り入れて工夫する。 | ・新たな観点を取り入れ、全体の構成を捉えながら、思いや意図をもって旋律を組み合わせるよう助言する。 ・なぜそう変えたか理由が説明できるよう声かけをする。 ◇思いや意図をもって、曲の山や終わりの音、繰り返しを工夫し、まとまりのある音楽をつくっているか。 |
| 4 各グループがつくった音楽を聴き、本時のまとめをする。 | ・条件に基づいてより良い音楽へと改良が見られた工夫点を共有し、次時の学習への意欲付けをする。 |

4 本時の評価

| | |
|--------------------------|--|
| 「十分満足できる」と判断される状況 | ・思いや意図をもって、グループで音楽の仕組みを効果的に用いるアイデアをたくさん出し、音楽的なつながり方になるよう終わる音や旋律の組み合わせを工夫し、何度も再生して試しながらまとまりのある音楽を積極的につくっている。 |
| 「おおむね満足できる」状況を実現するための手立て | ・板書から工夫の観点を確認させたり、2つのパターンを比較させて、違いを見つけたりすることで、どのようなまとまりのある音楽をつくるか思いをもつことができるようにする。 ・教師が思いや意図を尋ねたり、友だちの演奏を聴いたり、友達同士で思いや意図を交流して、自ら思いをもてるように働きかける。 |

